企画・制作＝日本経済新聞社クロスメディア営業局

広　告

つなぐ世界、むすぶ心
～新たな英知で世界に貢献～

世界経済の中で、強固なサプライチェーンを構築している商社に求められる役割が拡大を続けています。日本が掲げる成長戦略の中で、海外の成長を取り込む国際展開戦略の重要な柱であるインフラ整備にも、商社がグローバル経済の高度化に大きく貢献しています。

インフラ輸出推進に向けた商社の役割

政府はインフラシステムの海外展開推進策を具体的に検討するため、昨年6月に「経協インフラ戦略会議」を設置。日本貿易会も、一昨年6月以来、インフラシステム輸出の国際競争力強化に向けた官民連携策として、国際協力銀行（JBIC）、国際協力機構（JICA）、日本貿易保険（NEXI）の公的金融機能の拡充を要望してきました。

インフラシステム輸出推進に向けた商社の役割は、案件組成・ファイナンスの段階では当該国の需要や地域特性などの情報収集・分析を通じた案件の発掘と提案、および資金調達の枠組みを組成する役割を果たしています。さらに、設計・調達・建設ではロジスティクスの手配、相手政府関係者との交渉、管理・運営では事業コストを管理しながら利益を確保する経営を担っています。

商社の強みは「つなぐ力」

商社の強みは、世界と日本、あるいは企業と企業を「つなぐ力」です。商社ビジネスは、ある意味で「川の流れをつくること」といえるでしょう。川上に供給があって、川下に需要があり、さらには川中に物流や金融がある。商社には、それらをつなぎ、網羅する力があります。商社はグローバルなネットワークを持っています。ある国の川下でニーズがあれば、別の国の川上から供給してつなぐなど、世界をまたにかけて縦横無尽に「つながり」をつくり出すことができます。

グローバルに商流を構築し、バリューチェーンを形成して、そこで物流効率を上げ、製品のトレーサビリティーを上げて付加価値を高める。そして異業種間の企業と企業をつなぐことにより、それぞれの企業が自社だけではできなかったようなビジネスを可能にします。

社会発展に向け提言活動を展開

商社は共にビジネスに参加し、ビジネスを創造するオーガナイザーというべき存在です。商社がつないでいくことによって、「1＋1」を3にすることができる点が商社の強みといえます。

時代の変化に対応し、今では積極的な投資活動や外国企業とのアライアンス（連携）や子会社化してグループ経営を進めるなど、商社には「変身できる強さ」もあります。

日本企業を世界へとつなぎ、海外企業を日本へとつなぐ懸け橋となります。それにより日本企業が世界に飛躍し、日本経済全体にとっても世界の成長力を取り込んでいく助けになります。

また、環境技術や省エネ技術、安全・安心を担保する仕組みやノウハウなどは日本の得意分野であると同時に世界が求めているものです。日本の優れた技術やノウハウを商社が各国へとつなぐことにより、多くの国々に大きなメリットをもたらすことができます。

日本貿易会は今後も「つなぐ世界、むすぶ心～新たな英知で世界に貢献～」のキャッチフレーズの下、商社業界の英知を結集し世界経済と社会の発展に貢献すべく、積極的に提言活動を展開していきます。

商社人材等を生かした社会貢献活動
キャリア教育アワード奨励賞（経済産業省）受賞

商社OB・OG等が活躍するABIC

特定非営利活動法人　国際社会貢献センター（ABIC）は、国際ビジネスを通じて多年にわたって培われたノウハウや豊富な人材といった知的財産を活用して、国内外で民間レベルの支援・交流活動を行いグローバルに社会貢献活動を推進することを目的に、2000年4月に日本貿易会内に設置し、翌年5月にNPO法人となりました。

これまでに、途上国の国づくりに携わる人材育成や来日する留学生向け日本語教育等の支援、中小企業の国内外販路開拓や海外進出、地方自治体の地場産業育成、産品輸出促進、企業誘致への協力、大学・大学院への講師派遣や小中高校生への国際理解のための授業実施、国際スポーツ大会での通訳等のボランティア活動などに対して、適材を人選、派遣し、社会貢献活動に携わっています。昨年度には、同センターによる「豊富な国際ビジネス経験に基づいた大学・大学院講座」に対して、経済産業省キャリア教育アワード奨励賞が授与されました。

国際社会貢献センターは、これからも21世紀の豊かな日本と国際社会の発展のために、商社業界を中心とした人材の活用を通じた貢献をできればと考えております。

JFTC　一般社団法人　日本貿易会
Japan Foreign Trade Council,Inc
〒105-6106　東京都港区浜松町 2-4-1　世界貿易センタービル 6F　電話：03-3435-5964　FAX：03-3435-5979
www.jftc.or.jp